

## 第27期第9回世田谷区社会教育委員の会議 議事録（要旨）

- 【1】開催日時 平成30年1月10日（水）18時30分～20時00分
- 【2】開催場所 世田谷区役所第2庁舎4階 区議会大会議室
- 【3】出席委員 萩原委員（議長）、宇佐美委員（副議長）、片山委員、神保委員、上原委員、権田委員、坂倉委員、湯澤委員
- 【4】出席職員 教育委員会事務局  
花房生涯学習部長  
土屋生涯学習・地域学校連携課長  
大井社会教育係長、御園生社会教育担当係長  
橋本社会教育係主任主事

【5】傍聴人 無し

### 【6】資料

- 会議資料1 第27期第8回世田谷区社会教育委員の会議議事録（要旨）  
会議資料2 第27期世田谷区社会教育委員の会議活動報告書（案）  
参考資料 とうきょうの地域教育No.130

### 【7】前回議事録（要旨）の承認

異議なく承認された。議事録（要旨）の署名人は、宇佐美委員と権田委員。  
第10回定例会の議事録（要旨）の署名人は、議長が湯澤委員と片山委員を指名。

### 【8】議事要旨

#### 1. 事務局より報告

宮田委員が、新しく教育委員へ任命されたことにより、平成29年12月9日付けで社会教育委員を辞任した。残りの今期の会議については、1名欠員のまま進める。

#### 2. 活動報告書（案）の検討について

「第27期世田谷区社会教育委員の会議活動報告書（案）」について議長より説明を行い、意見交換を行った。

（意見交換）

（委員）P18図2について2つの双方向の矢印は支援を現している、1つの双方向の矢印は連携を現している。実線と点線で表記するなど、違うものだという事をわかりやす

く図示すべきである。

(委員) 図の矢印が重なっているため、どの表現がどの矢印にかかっているのかわかりにくくなっている。

(委員) 「さまざまな市民活動・団体の活動」を「公的活動」と表記すると、「公的制度・公的施設」の表現と混同してしまうため、わかりやすい表現にかえたほうがよい。

(委員) 「公的制度・公的施設」の例示に小学校、中学校、BOP等も加えたほうがよいと思う。また、子育てサロンも「市民活動・団体」の例示に加えたほうがよい。

(委員) 各例示については、区民の認知度が高いものを上にしたほうがよい。また「公的制度・公的施設」の例示なのに、制度については、「各種支援制度」とまとめられている。そうであるならば「公的施設・公的制度」と順番を入れ替えたほうがよい。「さまざまな市民活動・団体」も同様に団体と活動を入れ替えたほうがよい。細かいことだが、そういうところを統一させたほうが全体的にわかりやすくなる。

(委員) あまり例示に個別の団体名等はださないほうがよい。

(委員) 「インフォーマルな共の世界」がこの報告書では大事だと思うが、「インフォーマルな共の世界」という言葉が初めてみた区民にはわかりにくいと思う。定義を入れたほうがよいのではないか。

(委員) 同じような内容が複数ページにあるため、まとめて書いたほうがわかりやすいのではないか。

(委員) P24『(4) 社会教育的観点から「子どもの貧困」方策の柱立て概念図』で、親と子の内容がわけてかいてあるが、もっとそのことがわかるような書き方をしたほうがよいのではないか。

(議長) 提言の3つの柱を統一的な表現に変えたほうがよい。初めて見た区民がわかりやすいかどうかが一番大事。

### 3. その他

事務局より1月7日(日)に開催した新年子どもまつりの事業報告と、とうきょうとの地域教育No. 130の説明

#### 【9】次回の日程について

第10回定例会は平成30年2月22日(木)開催予定。

— 以上 —